

第13回 共同実施事業管理委員会 東京都作業部会
議事要旨

日時：平成30年7月11日（水）16:00～17:00

会場：東京都庁第一本庁舎33階南側A-1会議室

1 開会

2 議事

(1) 大会用データネットワークの詳細設計および機器調達について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・資料1「(5)①データネットワーク関連業務委託（詳細設計）」などにおいて、「SE 知見のあるメンバが項目と工数の妥当性を確認」とあるが、メンバとは組織委員会の職員か、外部の方か。
⇒SE の経験が十年以上あり、かつネットワーク関係の資格を有する組織委員会の職員が、各工数を確認し交渉を行っている。
- ・資料1「(5)③データネットワーク関連業務委託（インターネット回線サービス）」の割引について、低廉かどうかを既存環境と比較したことであるが、これまでに組織委員会が調達した実例との比較なのか、それとも他社の実例を調査し比較したのか。
⇒SE としての知見からの判断と、同規模の顧客への提示額との比較によって判断している。
- ・機器の調達は難しいが、設計業務などは組織委員会内のできるのではないか。
⇒自前でとなると今の人数では人員が不足するため難しい。また、実際に設計を行う方を企業から組織委員会に派遣するというのは、人事の面で難しいと聞いている。今回、委託をすることで、NTT やシスコのノウハウを借りて設計業務を行うことにより効率化できると考える。
- ・ゴールドパートナー契約を結んでいるのは持株会社の NTT であるが、傘下の NTT グループ会社にも供給権が発生するという理解でよいか。
⇒通信サービスの分野において、グループ会社にも供給権が発生する。
- ・資料1「(5)③データネットワーク関連業務委託（インターネット回

線サービス)」について、基本設計時の 100 ギガ回線から 10 ギガや 20 ギガ回線に変更したことについて、IOC や OBS など関係者とは調整できているのか。

⇒インターネット回線については、基本設計時に今後もデータ通信量が増えていくことを想定して 100 ギガと設定していたが、その後 IOC との調整により、IOC 等からは過去大会でも 10 ギガをフルに使ったわけではなく、増えたとしても 20 ギガだったことがわかった。そのため、現時点では 10 ギガ、20 ギガの回線契約を予定しているが、例えば 40 ギガなどに拡張が必要になった場合に備えて、追加工事が発生しないように配線等を工夫することで対応できる設計をし、調達をかける予定である。

- ・基本設計時に想定した 100 ギガという規模の根拠は。
 - ⇒シスコ社によれば、リオ大会時と比べて現在では、世界のインターネットトラフィック総量は 3 倍に増加しており、それを踏まえて、組織委員会が調達するサービス供給のトラフィック規模やバッファも考慮して、100 ギガ回線が必要との想定とした。
- ・資料 1 「(5)⑤データネットワーク関連業務委託（コロケーションサービス）」について、「床上げを実施する事で 1 ラックあたりの収容効率を上げる」とはどういう意味か。
 - ⇒床下にエアコンの空調設備が通っており、下から上へ送風することで、ラックに搭載している機器を冷却している。床を上げることでより床下の空間を広げてそこに多くの空気を送りこむことができれば、冷却効率が上がる。このようにして冷却効率を上げれば、1 ラックあたりに収容できる総電源容量を増やすことができ、収容効率が上がるということ。
- ・床上げのコストは、別途かかるのか。
 - ⇒今回に含まれている。

3 意見交換
特になし

4 閉会